



TITLE:

全国共同利用図書資料(大型コレクション)の利用案内について

AUTHOR(S):

CITATION:

全国共同利用図書資料(大型コレクション)の利用案内について. 静脩
1994, 31(1): 7-7

ISSUE DATE:

1994-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37260>

RIGHT:

来、利用者が集中しております。ご利用の際には、他の利用者のためにも効率よくご利用下さい。

全国共同利用図書資料（大型コレクション）の利用案内について

このたび下記大学図書館より、平成5年度全国共同利用資料（大型コレクション）について利用案内がありましたので、お知らせいたします。

なお、一部内容明細等のある資料につきましては、附属図書館参考コーナーでご参照下さい。

— 記 —

・東京芸術大学附属図書館

「音楽学学位論文集（Doctoral Dissertations in Musicology）」

・島根医科大学附属図書館

「解剖学教育ビデオ集成（ビデオテープ）」＊内容明細あり

・茨城大学附属図書館

「近代美術関係新聞記事資料集成（マイクロフィルム）（明治24～昭和16未収録期間あり）」

・九州芸術工科大学附属図書館

「色彩理論コレクション（A Collection on Color Theory）」＊内容明細あり

・鳴門教育大学附属図書館

「総合イギリス・アメリカ名著復刻叢書（Anglistica/Americana : a selection of works from the fields of literature, philosophy and religion, the social sciences, the pure sciences, language, the arts and technology）」＊内容明細あり

（参考調査掛）

報 告

電算機システムの更新について

1 概要

本学の図書館業務電算機システムは、附属図書館閲覧業務システムが昭和59年4月にオフコンで、目録業務・受入業務等についても昭和60年1月に附属図書館へ設置された中型汎用機によって開始されました。このうち、オフコンは現在も稼動中ですが、中型汎用機は平成2年1月に一度更新し、平成6年1月に二度目の更新を行いました。今回の更新では、使用しているソフトウェアについては大きな変更は加えず、主としてハードウェアを増強することによって、利用者サービスの拡大及びデータ量増大への対応を図ることとしました。ホストの主な増強内容としては、処理速度（MIPS値）が2.9から5.2へ、メモリが24MBから60MBへ、ディスク容量が15GBから25GBへ等となっています。さらに、ゲートウェイを設置してUNIXワークステーションからのアクセスを可能とし、端末システムについても台数の増加が行われました。

2 利用者への新規サービス

2.1 OPAC/TSSの充実

従来のコマンド形式による検索方法の他、4月から画面誘導形式による検索が可能となりました。コ

マンド形式と比較すると、検索手段が限定されるため、高度な情報検索に適しているとはいえませんが、マニュアルが無くとも検索することができるのが特徴です。コマンド形式と画面誘導形式は、必要に応じて使い分けることができます。

また、これまで利用できなかったUNIXワークステーションからも、6月からアクセスできるようになりました。これによって、学外からもインターネット経由で利用できるようになりました。ただし、ゲートウェイまでは共通IDで接続できますが、OPAC/TSSを利用するためには利用申請が必要です。利用申請については、附属図書館参考調査掛へ問い合わせてください。

2.2 情報コンセントの設置

附属図書館開架閲覧室の1階に10口、2階に4口、KUINSに接続するための情報コンセントを設置しました。

2.3 検索用携帯端末の貸出

附属図書館参考調査掛のカウンターにおいて、ノートブック型の検索用携帯端末の貸出サービスを4月から開始しました。この端末を、2.2の情報コンセントに接続すると、OPAC/TSSを利用することができます。

3 今後の課題

当面の課題としては、まず、稼働後すでに10年を